

こたえ はなさかじいさん

はってん
発展 ②

はなさかじいさん

(日本の むかしばなし)

やさしい おじいさんが、しろと いう 犬を かって
いました。

ある 日、しろが はたけで「ここ ほれ、わんわん。」
と なきました。ほって みると、こぼんが ざくざく
出て きました。

となりの いじわるな おじいさんも まねを
しましたが、出て きたのは がらくたばかりでした。
やがて しろが しぬと、おじいさんは おほかの
木で うすを つくりました。

となりの おじいさんが その うすを
やきましたが、のこった はいを まくと、かれ木に
花が さきました。

1 おじいさんの 犬の なまえは なんですか。

し
ろ

2 しろが ないた ところを ほると、なにが 出て きましたか。

こ
ぼ
ん

3 となりの おじいさんが ほった ときは、どう なりましたか。

ア こぼんが 出た。

イ がらくたばかりが 出た。

ウ なにも 出なかった。

4 はいを まくと、どう なりましたか。

かれ木に 花が さいた。

5 となりの おじいさんは、どんな 人ですか。

ア やさしい 人

イ いじわるな 人

ウ ものしりな 人

おうちの方へ

- 4は「かれ木に 花が さいた」が書けていれば正解です。